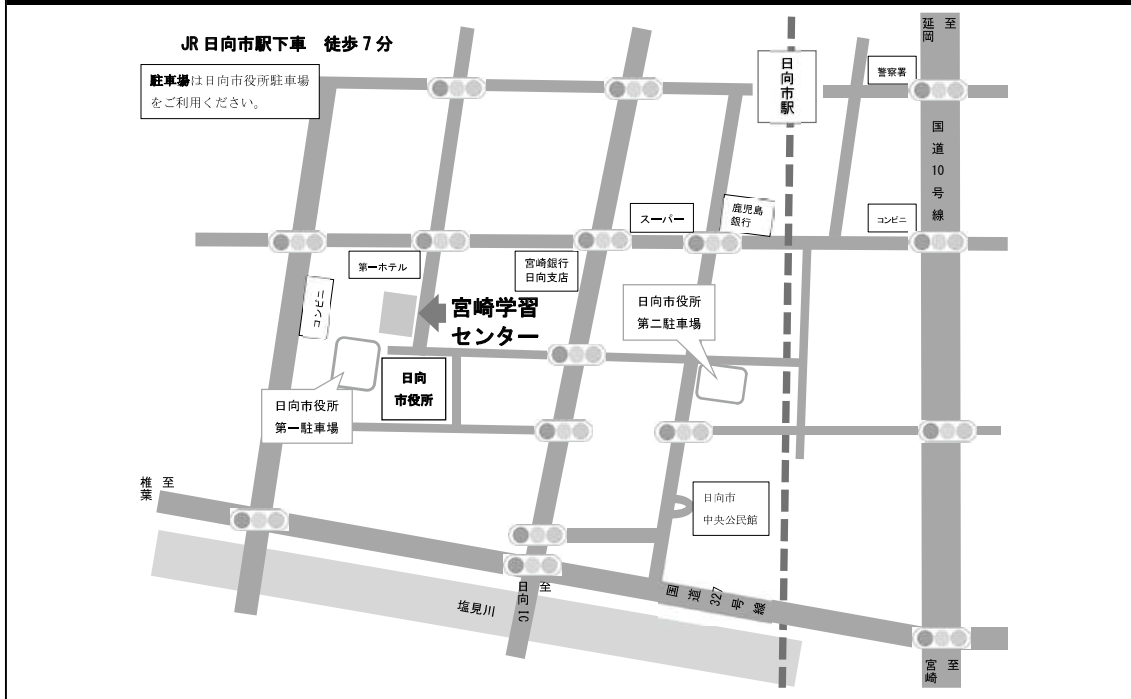


宮崎学習センター

(コード : 4 5 A)

宮崎学習センター案内図

☎0982-53-1893



【所在地】〒883-8510 日向市本町11番11号(日向市役所隣)

【交通アクセス】

- (1) JR日豊線 日向市駅下車 徒歩7分
- (2) 宮崎交通バス(延岡線・宇納間線)「商工会館通りバス停」下車 徒歩3分
- (3) 駐車場 日向市役所駐車場をご利用ください

【その他連絡事項】

面接授業は宮崎学習センター会場と宮崎市内会場で開講します。面接授業時間割表より、実施会場を事前にご確認のうえ、お間違えのないようにご注意ください。

科目コード	2688425	授 業 概 要	【授業内容】 大学で必要となる論理的な文章の読み書きの手ほどきを目的とします。他人の論理的な文章を批判的に読み、みずから論理的な文章を書くために必要な技法について講義します。最終的には500字程度のミニレポートを書く能力を身につけるのが目標になります。
学習センター(コード)	45A		【到達目標】 大学で必要となる論理的な文章を批判的に読むことができる。 論理的思考について学び、論証とは何かを理解したうえで、論理的な文章を書くことができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 論理的思考とは何か1 第2回 論理的思考とは何か2 第3回 論理的思考とは何か3 第4回 論理的思考とは何か4 第5回 論証文を読む 第6回 論証文を書く 第7回 論証型レポートの基本 第8回 論証型ミニレポートの作成方法
科目名	論理的な 読み書きの技法		【学生へのメッセージ】 講義中にワークを行う機会がありますので、心しておいてください。事前に授業で使用する資料を配付しますので、一読しておくことが望ましいです。
科目区分	基盤科目		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
ナンバリング	110		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	20名		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、日本語辞典（電子辞書可）
担当講師	カシワバ タケヒデ 柏 葉 武 秀 宮崎大学 教育学部教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年4月18日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年4月19日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		【参考書】 ・思考の教室（戸田山 和久／NHK出版／¥1,980／ISBN=9784140818336） この講義はこの書籍の一部に沿って進みます。購入する必要はありません。
実施会場	宮崎サザンビューティ専門学校 501号室 (宮崎市老松2-1-17)	【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。	

科目コード	2688450	授 業 概 要	【授業内容】 数学で使う言葉には日常の言葉とは違い、独特の言い回しがあります。従って数学を「言語」という観点から捉え直します。外国語を初めて学ぶように、a、b、c、から始め文法を学びます。これらは他の言語と違い単純な構造をもっています。また証明とは何か、正しいとはどういうことか、といった基本的なことを再考します。予備知識は仮定しませんし、自然と環境以外の学生向けの授業でもあります。
学習センター(コード)	45A		【到達目標】 日常使われる言語には、論理的思考を行う際に、よく使われる言葉、言い回しがあり、これらは、数学の言葉としても使われていることを認識することができる。そして、この数学で使われる言葉は、論理学という命題論理と述語論理の枠組みの中で説明されることを概観し、その言葉の意味や役割を理解し、身近なものとして捉えてもらうことができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 数学で使う言葉とは 第2回 数学独特の言葉使いについて その1 第3回 幾つか練習をおこなう その1 第4回 数学独特の言葉使いについて その2 第5回 幾つか練習をおこなう その2 第6回 数理的思考について学ぶ 第7回 数学の推論、証明について考える 第8回 証明できること、できないことについて考える
科目名	数学の言葉		【学生へのメッセージ】 予備知識は仮定しません。数学に親しみのない学生さんも受講してください。
科目区分	導入科目：自然と環境		【受講前の準備学習等】 事前配布資料をお送りしますので、分かる範囲で構いませんので、資料を読んでください。シラバス、学生への皆さんへのメッセージの内容から判断して、自己学習に努めてください。また授業後に、配布資料の中から授業内容にあたる部分を再度読んで、復習をしてください。
ナンバリング	220		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	25名		【受講者が当日用意するもの】 学生証
担当講師	クマベ マサヒロ 隈部 正博 放送大学教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年4月18日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年4月19日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室		

科目コード	2681854	授 業 概 要	【授業内容】 この授業では、私たちが暮らす地域社会について、主に都市社会学の観点から学びます。「そもそも都市とは何なのか」、「都市での生活と村落での生活とは何が違うのか」、「町内会とはどのような組織なのか」、「日本の都市や地域社会はどう変わってきているのか」などのテーマについて、できるだけ身近な話題と関連づけながら論じていきます。 【到達目標】 都市社会学が都市や地域社会を研究対象とする際の基本的な視点や問題関心、研究上用いられる概念の意味などについて的確に理解し、説明できるようになる。また、それらの視点や概念を活用して、身近な都市や地域の現状や特徴、問題や課題などについて考察・説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 近代大都市は「発見」された：都市社会学の誕生 第2回 都市空間はどのようにかたちづけられるか：同心円地帯モデルとその検証 第3回 都市の生活とは（1）：生活様式としてのアーバンイズムとコミュニティ問題 第4回 都市の生活とは（2）：都市的生活様式論 第5回 町内会という地域組織 第6回 都市社会のしくみ：都市類型と社会構造 第7回 都市とグローバリゼーション（1）：世界都市仮説 第8回 都市とグローバリゼーション（2）：工業都市と日系人 【学生へのメッセージ】 できるだけ入門的な内容を予定していますが、社会学についての基礎知識を学習されているとより理解しやすくなると思います。 【受講前の準備学習等】 皆さんがお住まいの地域あるいは住んだことがある地域（市町村など）についての解説レポートを書いていただく予定です。地域の特徴について自治体のwebサイトなどで調べておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・都市と地域の社会学（森岡清志・北川由紀彦／放送大学教育振興会／¥2,640／ISBN=9784595318856） 放送授業科目「都市と地域の社会学（'18）」の印刷教材です。 ・都市と地域の社会学（北川由紀彦・玉野和志／放送大学教育振興会／¥2,970／ISBN=9784595324796） 放送授業科目「都市と地域の社会学（'24）」の印刷教材です。 ・よくわかる都市社会学（中筋直哉・五十嵐泰正編／ミネルヴァ書房／¥3,080／ISBN=9784623065059） 【その他（特記事項）】 都市社会学に関連する放送授業（「都市社会の社会学（'12）」「都市と地域の社会学（'18）」「都市と地域の社会学（'24）」など）と部分的に内容が重なる可能性があります。
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	都市を社会学的にとらえる		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	25名		
担当講師	北川 由紀彦 キタガワ ユキヒコ 放送大学教授	授 業 概 要	
日程実施時間	2026年4月25日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年4月26日(日) 第1時限 09:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室	要	

科目コード	2688468	授 業 概 要	【授業内容】 文法に対して「おもしろくない」とか「難しい」といったイメージを抱いている人は、少なくないのではないのでしょうか。なかには、小学校や中学校、高校の国語の時間に品詞や活用形を暗記させられて困ったという経験がある人もいるかもしれません。ですが、そもそも文法とは「覚える」ものではなく、「考える」ものです。私たちが普段使っていることばには、規則性があります。ことばを観察し、その規則性について考えるのが文法研究です。本講座では、実際にさまざまな日本語の文を観察し、日本語が持つ文法規則について考えていきます。 【到達目標】 ①ことばを意識的に捉えることができる。 ②格助詞・テンス・ヴォイスといった日本語の文法上の特徴を理解することができる。 ③さまざまな日本語の文を観察し、文法規則について考えることができる。 【授業テーマ】 第1回 はじめに 日本語文法と学校文法 第2回 日本語の文と助詞（1） 第3回 日本語の文と助詞（2） 第4回 日本語の文と助詞（3） 第5回 視点に関わる表現 ヴォイス（1） 第6回 視点に関わる表現 ヴォイス（2） 第7回 時に関わる表現 テンス（1） 第8回 時に関わる表現 テンス（2） 【学生へのメッセージ】 ことばは私たちにとって空気のような存在です。そのため、自分が使っていることばを意識することはあまりないかもしれません。自分の言語直観を働かせて、普段自分が使っていることばについて考えてみてください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・日本人のための日本語文法入門（原沢伊都夫／講談社／¥1,012／ISBN=9784062881739）
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	日本語の文のしくみ		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	35名		
担当講師	タナカ リサコ 田中 利砂子 南九州大学短期大学部 准教授		
日程実施時間	2026年5月9日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年5月10日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	南九州大学 宮崎キャンパス講義室 (宮崎市霧島5丁目1番地2)		

科目コード	2682761	授業概要	【授業内容】 この授業では、大学での学びを進める上で役立つ問題解決の基本的な手法を学習します。問題発見から目標設定、解決策の考案に至るまでの一連の技法について学びます。授業の前半では、問題解決の考え方や、その振り返りまでの手法を、グループ演習を行いながら学びます。後半ではグループに分かれ、それぞれが設定したテーマについて問題点と解決策の立案を行い、成果をまとめ発表し合います。その後振り返りを行います。これらの演習を通して、授業で得た知識を今後の仕事や学びに活かせることを目指します。		
学習センター(コード)	45A				
クラスコード	K				
科目名	演習・問題解決の進め方				
科目区分	基盤科目				
ナンバリング	110				
定員	24名				
担当講師	アキミツ トシオ 秋光 淳生 放送大学准教授	授業概要	【到達目標】 ・問題発見から解決に至る一連の手順を習得できる。 ・自身の思考やアイデアを図解を用いて明確に表現できるようになる。 ・グループで協力し、質の高い情報を収集し、それに基づいて自身の意見を論理的に再構成し、正確に発信できる。 ・多様な意見が交錯するグループ討議の中で、効果的な解決策を導き出すスキルを身につけることができる。		
日程実施時間	2026年5月16日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年5月17日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40			【授業テーマ】 第1回 アイスブレイク・問題とは何か 第2回 問題発見・目標の設定・振り返り 第3回 アイデアの図解化・グループでのアイデアの整理 第4回 グループワーク (1) 第5回 グループワーク (2) 第6回 グループワーク (3) 第7回 グループワーク・発表 第8回 振り返り	
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室			要	【学生へのメッセージ】 放送大学には年齢や職業も多様な学生がいます。面接授業はそうした学生が直接話し合う大切な機会です。講義とグループワークを通して今後の学びに活かしていただきたいと思います。
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室	要	【受講前の準備学習等】 事前学習として、放送大学の「学生生活の栞」を読み、放送大学での学び方について理解を深めておいてください。また、シラバスをもとに、「問題」とはどのようなものかを考察し、自分が現在、「問題だ」と思うことを1つ挙げ、その解決策について検討しておいてください。		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室	要	【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室	要	【受講者が当日用意するもの】 筆記用具		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室	要	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室	要	【参考書】 ・問題解決の進め方（改訂新版）（秋光淳生、門奈哲也／放送大学教育振興会／¥2,420／ISBN=9784595325243）		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室	要	【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 「改訂・問題解決の進め方」と一部内容が重複します。		

科目コード	2688433	授 業 概 要	【授業内容】 糖尿病、高血圧、脂質異常症等の生活習慣病の予防、低体力者や高齢者の介護予防など、健康志向の運動が地域で活発に行われています。しかし、運動により健康障害を引き起こすこともあるため、運動実践においては基本的な知識と技術が必要となります。本講義では、健康について考えながら自身の健康状態や体力を知り、その上で自身に適した運動の種類や方法を理解できるように、健康運動に関する講義と実技を行います。 【到達目標】 自身の健康状態や体力を知ることができる。 自身に適した運動の種類や方法を理解することができる。 【授業テーマ】 第1回 健康について考える。わが国の健康づくり施策の変遷（担当：吉永） 第2回 体力について考える。体力測定項目と目的（担当：吉永） 第3回 身体活動のためのエネルギー産生のしくみ（担当：吉永） 第4回 運動とエネルギー消費（担当：吉永） 第5回 体力の測定と評価（担当：畠山） 第6回 目的別運動の選択と評価の視点（担当：畠山） 第7回 健康づくり運動の実践法①（担当：吉永） 第8回 健康づくり運動の実践法②（担当：吉永） 【学生へのメッセージ】 皆さん、小・中・高等学校で体力テストを行ったことがあると思います。過去と現在の自分の体力比べをしてみませんか。現状を知り、健康づくりの運動と一緒に実践しましょう。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 体力測定・運動を行いますので、運動できる服装でお越しください。シューズは室内用の運動靴をご準備ください。また、水分補給のための飲み物を持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：保健体育」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	健康志向の運動実践2		
科目区分	基盤科目：保健体育		
ナンバリング	110		
定員	20名		
担当講師	ヨシナガ サオリ 吉 永 砂 織 宮崎大学 医学部准教授 ハタケヤマ ヨシアキ 畠 山 芳 彰 宮崎大学 医学部助教		
日程実施時間	2026年6月6日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年6月7日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎大学清武キャンパス 総合教育研究棟 (宮崎市清武町木原5200番地)		

科目コード	2688476	【授業内容】 宮崎県の代表的な博物館である宮崎県総合博物館と宮崎県立美術館で、コレクションの見学やバックヤードツアーを交えながら、文化芸術について体験的に学びます。1日目の宮崎県総合博物館では地域の歴史と神楽をはじめ特色ある民俗文化や有形文化財について、2日目の宮崎県立美術館では本県出身で日本の現代美術の先駆者である瑛九や、彼に影響を与えたシュルレアリスムの国内外作家の名作コレクション等について、各館の学芸員が専門的な講義や展示解説を行います。
学習センター(コード)	45A	
クラスコード	K	
科目名	博物館で宮崎の文化芸術を学ぶ	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	20名	【到達目標】 宮崎県総合博物館と宮崎県立美術館のコレクションを通して、宮崎の歴史や各地域で育まれた民俗文化、宮崎の近現代美術と同時代に展開された国内外の美術との関係について理解し、関心を持った資料や作品について説明できるようになる。
担当講師	イシカワ チカコ 石川 千佳子 放送大学特任教授 サカイ リュウジ 酒井 隆治 宮崎県総合博物館学芸課長 ミヤタ ヤソハチ 宮田 八十八 宮崎県総合博物館主査 ミヤジ キワ 宮地 輝和 宮崎県総合博物館主任主事 ウメダ カズアキ 梅田 一明 宮崎県立美術館副館長 キムラ ユキヒサ 木村 幸久 宮崎県立美術館専門主幹 ヒラタ トモミ 平田 智美 宮崎県立美術館学芸課長 コバヤシ ミキ 小林 美紀 宮崎県立美術館学芸リーダー	
日程実施時間	2026年6月6日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年6月7日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	【授業テーマ】 第1回 宮崎県総合博物館と宮崎県立美術館のコレクションと宮崎の文化芸術の特色とは(石川) 第2回 日向国の歴史について(宮地) 第3回 宮崎県の民俗文化について(宮田) 第4回 宮崎県の有形文化財について(酒井) 第5回 宮崎県立美術館の誕生から現在地(梅田) 第6回 瑛九について(小林) 第7回 宮崎の美術について(木村) 第8回 特色ある教育普及活動から(簡単な造作体験を含む)(平田)
実施会場	6月6日(土) 宮崎県総合博物館 (宮崎市神宮2丁目4-4) 6月7日(日) 宮崎県立美術館 (宮崎市船塚3丁目210)	【学生へのメッセージ】 宮崎の文化芸術というとなまじきに思い浮かぶのは神楽でしょうか。古より地域に根差した民俗文化から、日本の現代美術をけん引した瑛九まで、個性的な文化財や美術作品がたくさん存在しています。近接した宮崎県総合博物館と宮崎県立美術館の学芸員の講義と共にコレクションを堪能することで、地域の文化に対する新しい視点が得られるにちがいありません。
		【受講前の準備学習等】 授業が行われる二つの館については、各館のHP等で事前に調べておいてください。
概要		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
要		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
		【その他(特記事項)】 特別展を観覧する場合は、入場料が発生する場合があります。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧(P.5参照))

科目コード	2688484	授 業 概 要	【授業内容】 私たちの身の回りは化学物質に満ちており、皆さんは、知らず知らずのうちに色々な化学反応を利用して生活しています。今回は光（可視光線と紫外線）。光を使った色々な化学実験を体験し、身近な光が関わる化学現象を理解していきます。本講義では、あっと驚く楽しい化学実験を体験し、その原理（化学反応など）をわかりやすく解説します。 【到達目標】 光（可視光線と紫外線）が関わる身近な化学現象の原理を理解し、自分自身で化学実験をできるようになる。 【授業テーマ】 第1回 CD-Rで光の正体を暴く 第2回 花の色素で謎の白い固体の正体を暴く（手作りバスボムも作成） 第3回 砂糖の秘密？ 第4回 あんかけのとろみがサラサラに？ 第5回 見えない光（紫外線）の秘密 第6回 輝く植物を探せ 第7回 色々な植物から輝く成分を取り出す 第8回 コーヒーフィルターで植物の輝く成分を分離する 【学生へのメッセージ】 簡単に手に入る身近な物を使ってあっと驚く楽しい化学実験を体験します。本講義では、化学実験を体験後、その原理（化学反応など）をわかりやすく説明します。原理を理解すれば自宅でも家族が驚く化学実験を再現できます。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 汚れても良い服装で来てください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）
学習センター（コード）	45A		
クラスコード	K		
科目名	身の回りのあっと驚く化学体験5		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	スガモト カズヒロ 菅 本 和 寛 宮崎大学 工学部准教授		
日程実施時間	2026年6月13日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年6月14日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎大学 木花キャンパス講義棟 （宮崎市学園木花台西1丁目1番地）		

科目コード	2679183	授 業 概 要	【授業内容】 3種の実験を行い、それぞれについてレポートを作成します。予定している実験は、情報伝達（パートレットの系列的再生）、ミュラー・リヤーの錯視、概念学習です。授業時間中にデータ整理、レポート作成をおこないますが、間に合わない場合は、後日レポートを提出していただきます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	45A		【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 情報伝達（パートレットの系列的再生） 第2回 論文・レポートの書き方、データ整理、レポート執筆指導 第3回 ミュラー・リヤーの錯視 第4回 データ整理、レポート執筆指導 第5回 概念学習 第6回 概念学習 第7回 データ整理、レポート執筆指導 第8回 各レポートの再考・修正
科目名	心理学実験1		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
科目区分	専門科目：心理と教育		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
ナンバリング	320		【受講者が当日用意するもの】 レポートは、手書きでもノートパソコンを使用して作成してもかまいません。空き時間等で自分のノートパソコンを使用してレポートを作成される方は、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
定員	20名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ナイトウ ケンイチ 内 藤 健 一 九州医療科学大学 臨床心理学部講師		【その他（特記事項）】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
日程実施時間	2026年6月20日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年6月21日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室		

科目コード	2688492		【授業内容】 宮崎大学の臨海教育研究施設に1泊し、様々な方法で海の生物を採集し、その多様性を知ること、神秘的なウニの発生活象やプランクトン生物について学ぶ合宿形式の授業です。海の生物を自らの手で採集し、自らの目で観察することの重要性和楽しさを実地で学ぶ授業です。その様な学びを通じ、海洋環境と生物との関わりを理解し、海洋生態系と人間、食資源との関わりについて理解を深めます。 海の生物の面白さをじっくり味わいましょう。実物に勝るものなしです。
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	海洋生物学実習2		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320	授 業 概 要	【到達目標】 生物を採集し、実際に手に取って観察することで、海洋生物の多様性や進化についての基礎知識を得ることができるようになる。また、これらの学習を通じて、海洋環境に関する知識や食糧生産の諸問題を解決する能力を身につけることができる。この科目は「地球環境保全」「水圏環境と生物の多様性に関する基礎知識」「環境と食糧生産に関する分析力」についても身につけることができる。 【授業テーマ】 第1回 動物の系統進化と多様性（講義） 第2回 ウニの人工授精と初期発生の観察 第3回 潮間帯における動物の生態、無脊椎動物の不思議（講義） 第4回 カキ殻に潜む生物の採集と観察 第5回 埠頭におけるプランクトン採集と観察（一部、講義） 第6回 磯での海洋生物の採集 第7回 磯採集生物の同定と観察① 第8回 磯採集生物の同定と観察②、まとめ 【学生へのメッセージ】 実習を主体とする2日間の授業を通じ、仲間と協力し、たくさんの海洋生物を集め、自身の目でじっくり観察し、楽しく学びましょう。特別な予備知識はいりません。海の生き物に興味を持てた、大好きになれたと実感できる授業としたいです。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 授業の一部に磯採集を含みます。長袖シャツ・長ズボン、履き古した靴下、日除け帽子（または日除けタオル）、濡れてもよい運動靴またはマリンスーツや長靴など、野外観察と採集ができる服装を準備してください。磯での野外観察では、できるだけ素肌を露出させない工夫が必要です。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・海に暮らす無脊椎動物のふしぎ（中野理枝 著、広瀬裕一 監修／ソフトバンククリエイティブ／¥1,048／ISBN=9784797363005） 【その他（特記事項）】 ・延岡フィールドでの宿泊は、2～4名が利用可能な宿泊室の相部屋利用となります。原則、延岡フィールドに宿泊して授業に参加をしていただきたいですが、宿泊を希望しない方は、近隣のホテル等をご自身で予約し、実験所に通学して参加もできますので、宮崎学習センターに問い合わせてください。また、感染症等の状況により、延岡フィールドに宿泊できない場合も想定されます。その場合、施設近隣のホテル等から延岡フィールドに通学していただくことも想定されます。あらかじめ、ご了解ください。 ・延岡フィールドに宿泊した場合、授業料とは別に、参加費として5,000円程度（食費、布団レンタル代、宿泊料、雑費等）が必要です。参加費は当日現金で徴収します。 ・受講できなくなった場合は、事前に宮崎学習センターに連絡してください。 ・野外での活動、磯採集のできる服装を持参してください。後日、野外での活動時の注意事項や実験所の宿泊利用などをまとめたガイダンス資料を、案内文と共に送付いたします。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）
定員	25名		
担当講師	ウチダ カツヒサ 内田 勝久 宮崎大学 農学部教授		
日程実施時間	2026年6月27日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年6月28日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎大学 農学部附属次世代農学教育研究センター・延岡フィールド (水産実験所) (延岡市赤水町376-6)		

科目コード	2679221	授 業 概 要	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 この授業では3つの心理学実験を行い、得られたデータを分析し、レポートを作成します。予定している実験は、「印象形成」、「自由再生による記憶の系列位置効果」、「メンタルローテーション」です。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験2		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	オザワ タクヒロ 小澤 拓大 宮崎学園短期大学 保育科准教授	授 業 概 要	【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
日程実施時間	2026年7月4日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年7月5日(日) 第1時限 09:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎県婦人会館3F 「さくら」 (宮崎市旭1-3-10)	授 業 概 要	【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション、心理学実験についての概説 第2回 実験1「印象形成」実施・データ整理 第3回 実験1「印象形成」解説・レポートの書き方・レポート執筆指導 第4回 実験2「自由再生による記憶の系列位置効果」実施・データ整理 第5回 実験2「自由再生による記憶の系列位置効果」解説・レポートの書き方・レポート執筆指導 第6回 実験3「メンタルローテーション」実施・データ整理 第7回 実験3「メンタルローテーション」解説・レポートの書き方・レポート執筆指導 第8回 実験における倫理的配慮、まとめ、レポート執筆指導等 【学生へのメッセージ】 実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作は習得されていることを望みます。 【受講前の準備学習等】 会場のWi-Fiからインターネットへの接続が必要です。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Excelが必要。です。 4. その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポートを提出してもらいますが、会場にプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2688441	授 業 概 要	【授業内容】 「認知症のことをもっと知ろう」では、認知症の原因となる主な病気や症状の特性など、基本的なことを理解し、それによって引き起こされる認知症の人の心理や行動の変化、認知症の人から見た世界、日常生活への影響について学びます。また、認知症の人のケアの歴史、そして「今」のケア法、認知症本人のみならず介護する家族を含めた支援のあり方や認知症の予防について学びます。 【到達目標】 我が国における認知症ケアは、認知症の人が尊厳を保持しつつその人らしく希望をもって、住み慣れた地域で生活できるよう支援していくことを基本理念としている。そのためには、認知症や認知症の人のことを理解していなければならない。認知症になる病気や特性、認知症の人の内的世界や具体的なケアの方法、介護する家族の心理等を理解し、認知症の人とその家族に対する支援のあり方について、説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 認知症の基本的理解 第2回 認知症の人の特性と行動の変化の理解 第3回 認知症の人から見た世界と心理 第4回 認知症の人を介護する家族の心理と社会的支援 第5回 認知症のケアの歴史とケアの現在 第6回 認知症ケアの現在 第7回 軽度認知障害と認知症の早期発見・予防 第8回 総括 【学生へのメッセージ】 認知症の人は、2025年には471万人、2035年には565万人になるとわれています。認知症や認知症の人を理解し、認知症の人の意思が尊重され、自分らしく暮らしていくことができる社会（認知症になってもよい社会）、そして認知症にならないよう、どのように生活していけばいいのか考えていきましょう。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	認知症のことをもっと知ろう		
科目区分	導入科目：生活と福祉		
ナンバリング	210		
定員	25名		
担当講師	イナダ ヒロコ 稲田 弘子 九州医療科学大学 社会福祉学部教授		
日程実施時間	2026年7月11日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年7月12日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室		